

各委員会審査報告

建設環境常任委員会報告

急がれる生活環境の整備！



委員長 中本 博明

議案の所管事項全般にわたり、執行部から説明を求め、質疑を行い、十分なる審議の結果、認定すべきものと決定した。主な質疑応答は以下のとおりである。

上下水道課関係

簡易水道事業において契約水量の内32%は使っていないが、有効活用できないか、との間に、小松屋代の自己水道については、広域水道の水に切り替えを、柳井広域事業団と検討をしているとの事。下水道事業においては、同じ町内に住んでいながら公共下水のある所とない所の差がないようにして欲しいとの要望があった。



委員会審査

生活衛生課関係

住民がゴミの事について電話をすると、生活衛生課や環境施設課などに、たらい回しにされる。一本化できないかとの間に、今後組

織、機構の改革の中で検討していくとの事。

農林課関係

行政として竹を減らす対策を講じているかとの間に、JAでは、タケノコ荷受目標を15tから50tへと大幅に増やし、町としては、竹対策を行う団体にチップーシュレッダーを貸し出すなどの支援を行っているが、竹を減らすようにも個人所有林であるなど、ままたらぬとの事。



整備される竹林

商工観光課関係

星野哲郎記念館に関して、芸能人やプロ歌手を呼ぶなど、周防大島をPRしてはどうかとの間に、来年度予算を要望していきたいとの答弁。

建設課関係

県の海岸浸食防止事業の進捗状況が悪いとの指摘に、予算措置が要求どおりいかないのが原因との答弁。